

「ひきこもりを考える対話集会」を終えて



古来より人間の性を善と考える説と悪と考える説があります。個人は自分の人生体験から、それぞれの場面で善悪を考えざるを得ませんが、個人によってその感覚のずれがあります。

人によってすごく善悪を気にする人とあまり気にしない人がいます。また毎日の生活の中で、重視していることが人によってマチマチです。急激な社会変化がある時には、人はその変化についていけなくなることがあります。それは必ずしもその個人の責任と言い切れないことがあります。そのような人間関係の中で今日は、赤ちゃんからお年寄りまで、大勢のひきこもり者を出しています。

「ひきこもる人は優しく、シャイで、プライドが高い」と池上さんは今回の集会では総社でも津山でも一度も口にしませんでした。そこには彼なりの何かの想いがあったのでしょうか。ひきこもる人はより多く性善説に傾いた人であるので、社会がそうでないと、戸惑いが起こり、動けなくなるように思われます。

性悪説に傾く人は人を信じることができませんから、意地悪で、出しゃばりで、卑屈になります。世の中が乱れる時は性悪説が優勢になります。世の中を安定させるためには、性善説を社会システムとして論理的に定着させることです。それぞれの人格を最大限尊重する社会の第4極の充実が希求されることになります。霧が晴れるように人々の心にその理念がしっかり腑に落ちる時がきっと来



るでしょう。

家族の集い

今年の津山・きびの会総会には、県民局の大澤保健師さんが参加してくださいました。

5月の定例会にも、参加していただき頼りになれる方との印象を強く持ちました。

6月には、かなり当事者と家族の問題で悩みを深くされているAさんとわたしで大澤さんにトトロの家で話を聞いてもらいました。

対応の仕方には、随分とヒントをいただきかなり心の重荷を下ろすことができました。

月1回程度こんな会ができたらいいなと家族への呼びかけをして7月には、4家族で集い大澤さんと貴重な時間を過ごしました。当事者への深い思いがあるほど、何とか幸せな人生を送って欲しいという願いが息苦しさの関係を作ることもあります。

長い年月本当に頑張ってきた当事者と家族に、涼やかな風が吹き抜ける時間となるように8月も家族の集いを開きます。背負った荷物をみんなで分け合いましょう。参加を希望される方は、ご連絡ください。(090-7591-3294 川島和子)

8月の集い 8月23日 13:30~16:00 トトロの家



若者活動

ご希望の行事の提案ください
お待ちしております(係)